

きょうさいだより



佐世保共済病院写真コンテスト優秀賞 原 浩高氏 金比羅島の夕景

理 念

博愛の精神
人の和
自己研鑽

目 標

1. 私達は、地域のみなさんのニーズに応え、信頼してもらえる医療を目指します。
2. 私達は、他の医療機関と共に、地域のみなさんの診療と健康増進に努めます。
3. 私達は、新しい医学、医療の知識と情報を取り入れ、常に自己啓発に努めます。
4. 私達は、それぞれが自己の責任を自覚し、安全な診療を目指します。
5. 私達は、病める人の苦しみや喜びを分かち合える心をもって診療に努めます。

I N D E X

- 年末にあたり／共済医学会を終えて..... p.1
- 手術室増設工事完了のお知らせ／血管造影検査装置新設について..... p.2
- 診療活動の現況～高気圧酸素治療室～..... p.3
- 新採用医師の紹介／医療を支える人々～リハビリテーション科～..... p.5
- OBに聞く～やまさきこどもクリニック 山崎士郎先生～／年末年始の当直体制..... p.6
- 外来診療担当表..... p.7

ごあいさつ

院長 福井 仁士



年末にあたり

本年もあと僅かになってきました。振り返ってみると、本年も日本や世界で大きな自然災害、テロや犯罪など暗いニュースの多い年でした。

明るい話題が少ない現在ですが、病院の周りを見ると美しい自然が残っています。写真は、佐世保川のほとりのハナミズキの紅葉です。この写真は、佐世保市松瀬町久田重一氏が撮影されたものです。ハナミズキは佐世保市の木に指定されていますが、もともとは米国産で英語名はdog-wood treeです。アメリカの有名な映画“風とともに去りぬ”の背景には南部の美しいハナミズキがありました。

私は以前、米国ジョージア州のアトランタから北のテネシー州のチャタヌガまで車でドライブしたことがありますが、その途中にこの映画の舞台となった場所があり、山全体のハナミズキが紅葉した光景を見たことがあります。すばらしい眺めでした。ハナミズキは、日本でも各地に見られるようになりました。山梨県甲府市では、街路樹として大きくなったハナミズキの並木が続いています。

日頃の憂さをひと時でも忘れ、ストレス解消のために、身の回りの自然を眺めましょう。佐世保市にも美しい自然が残っています。よいお年をお迎えになるように願っております。



共済医学会を終えて

副院長 木寺 義郎

第54回共済医学会が当院主催で10月26、27日にハウステンボスにて開催されました。全国36病院から約800名の参加者を迎えるにあたり、当初は会場が狭いのではないかと心配されましたが、受付を1ヶ所で行い、各会場にデータを送るシステムで混雑は緩和され、また晴天にも恵まれて講演の合間に庭園の花も観賞でき、実り多い学術集会となりました。なかでも長崎総合科学大学 ブライアン バークガフニ教授の特別講演は好評で、歴史の裏舞台で異郷の長崎の地に骨を埋めながら、和洋折衷の文化を育んだ外国の人々に光を当てた、格調高い文化講演でした。シンポジウムの“医療安全管理の在り方”“臨床研修の現状と将来”はいずれも焦眉の急のテーマで、医師の後期研修となる国内留学制度など連合会主導のアクションプランも策定されました。懇親会では素晴らしい学会だったという評価を多数の方から頂きましたが、当院も今回の学会で多くのことを学び、貴重な経験ができたと思います。



今年の初めより行っておりました手術室増設工事が完了しました。これにより今までの7室から8室になります。計画から設計段階において種々の案が出ましたが、限られた広さの手術場での増設工事は日々の手術を行いながらの作業でしたので、関係各位には色々ご迷惑をおかけしました。新しい部屋の大きさは他室と変わりませんが、新たな設備として無影灯の中心にカメラを設置しました。

今後はこのカメラを活用して、手術の見学やご家族への説明に有用になると思われます。また、緊急手術や患者さんの搬入、搬出に際しての時間短縮にも寄与するものと期待しています。新手術室は12月初旬より使用できるようになっています。



血管造影検査装置新設について

放射線科医長 野々下 政昭

これまで11年以上使用していた血管造影装置の老朽化に伴い、この度、最新鋭の血管造影装置 (Siemens 社 AXIOM Aris dTA) を導入しました。これまでの装置との違いは、①検出器がフラットパネルディテクターになり、周辺部の歪みがなく高分解な血管の描出が可能となった。②旧装置ではできなかった3Dイメージングが可能となり、特に脳神経外科領域においては術前・術後の評価に大きく貢献できるようになった。③そして最大の特徴としてDyna CTと呼ばれるソフト (西日本1号機) を搭載したことが挙げられます。これにより回転撮影を行ったデータから、CT同様、横断像、冠状像、矢状断像を自由に作製でき、血管造影下の治療 (IVR) にも大きく生かすことができると思います。

他にも心臓血管3D作製ソフトなど、これからのIVRに必要な機能を多く搭載し、患者さんの負担を最小限に抑えながら、なおかつ質の高い治療を提供していきたいと考えています。



CT-like画像 (肝臓)



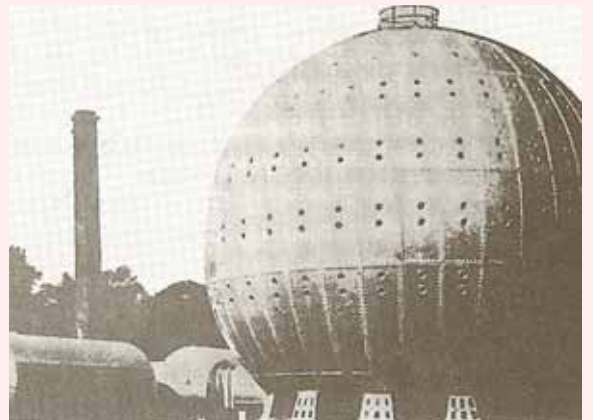
3Dアンギオ椎骨動脈 (未破裂動脈瘤)

協力:中央放射線検査科 診療放射線技師 小川 成美



はじめに

当院では高気圧酸素療法を平成16年1月19日から開始し、現在は3名の技師と共に治療を担当しています。軽い脳梗塞のため呂律が回らない患者さんは一回の治療だけで改善することがあり、また重症の感染症でも救命につながる事ができますので、スタッフ一同がんばって治療にあたっております。



Cunninghamがグリーンランドに建造した高気圧治療病院(1928)

高気圧酸素療法の歴史は1662年にイギリスで圧縮空気浴が始まったことが最初で、1795年Beddoesが初めて酸素を治療に応用しました。その後、現在の高気圧酸素療法の原型が作られたのは1855年で、19世紀から20世紀前半にかけて欧米で全盛期を迎えました。20世紀初期に治療効果を否定する報告により一時ほとんど行われ

ない時期がありましたが、1937年に動物実験での成功から再び世界の脚光を浴びるようになり、臨床応用が再開されました。現在では悪性腫瘍の化学療法との併用、スポーツ医学やリハビリテーション医学における臨床応用も報告されており、今後の発展を期待されております。

【治療方法】

当院では、第1種の1人用チャンバー式機械(写真①)を採用しており、一回につき加圧と減圧時間含めて約一時間半の治療時間となっています。2気圧の高気圧酸素内にいることにより、障害を受けた組織や感染部位に十分に酸素を与えて治療促進を促す治療法です。

治療開始から平成17年8月31日までの治療回数は1,420回で、治療人数は延べ130人です。

(表1)にその内訳を示します。ここに挙げた疾患以外にも保険適応疾患として一酸化炭素中毒や潜函病などがあります。

■当院での施行症例数(表1)

症例	症例数
脳梗塞	42
突発性難聴	20
末梢循環障害	15
腸閉塞	14
急性末梢血管障害	14
骨髓炎	11
ショック	5
ガス壊疽	4
網膜動脈閉塞症	3
皮膚移植	1
脊髄障害	1
合計	130例



高気圧酸素治療装置(写真①)

【治療成績】

今回、治療開始から平成17年10月31日までの脳梗塞および突発性難聴の治療成績を検討いたしました。(表2)脳梗塞に関しての治療件数は57件、平均年齢は73.9歳、性別は男性24例、女性18例、平均治療回数は5.9回でした。

■脳梗塞に対する治療成績(最後の治療終了時)(表2)

意識レベル(JCS)	発症時1以上	1段階以上の改善	不変	改善率
	17例	9例	8例	53%
構音障害	発症時(+)	改善	不変	改善率
	22例	7例	15例	32%
麻痺	発症時(+)	1段階以上の改善	不変	改善率
	30例	16例	14例	53%

■突発性難聴・聴力回復の治療成績(表3)

治癒(全治)	4例
著明回復	2例
回復	6例
不変(悪化を含む)	8例
合計	20例

突発性難聴に対する治療成績は、治療件数は20例、平均年齢は56.8歳、性別は男性12例、女性8例、発症から高気圧酸素療法開始までの期間は平均10.7日、患部は右12例、左8例、平均治療回数は10.3回です。(表3)

以上、両疾患とも高気圧酸素療法施行症例が良好な治療効果が得られ、また比較的早期に改善する傾向を認めています。なお、紙面の都合上省略はしましたが、難治性褥瘡などの皮膚疾患や抗生剤に治療抵抗性のあった重症感染症にも有効でした。

【副作用】

ほぼ全例で治療開始時に耳痛を訴えますが、耳ぬきで予防出来ます。耳ぬきが十分に行えなかった症例で生じる滲出性中耳炎は当院でも4.3%に認めましたが、全例鼓膜切開をすることにより聴力低下は認めませんでした。その他の副作用は認めませんでした。

【おわりに】

高気圧酸素療法を当院で開始して約2年経ちました。実際に治療を行ってみると、その治療効果に驚く毎日です。しかし一方では、1967年と1969年に国内で治療中に火災が発生し人命が失われる事故の報告もあり、定期点検と安全管理の重要性を十分に認識して取り組むべき治療法でもあります。

当院で高気圧酸素療法を始めた時は林臨床工学技師が一名で何もない所から立ち上げました。軌道にのせるには多くの苦労がありましたが、今年7月からは3名の技師によりローテーションを組むことができるようにまできました。紹介症例も年々増えてきております。今後もより多くの地域住民の方々に貢献したいとスタッフ一同毎日仕事に勤しんでいます。



原口医師と臨床工学技師スタッフ

新採用医師の紹介 ①出身大学・卒業年度②在籍医局③専門領域④出身地⑤趣味・ひとこと



9月1日採用
[小児科] **合田 祐治** (ごうだゆうじ)

- ① 琉球大学 H9
- ② 長崎大学 小児科
- ③ 小児科一般 小児アレルギー
- ④ 長崎県
- ⑤ 趣味はドライブで長距離の運転も可です(当直明けでなければ…) よろしくお願ひいたします。



12月2日採用
[小児科] **西岡 桃子** (にしおかももこ)

- ① 山口大学 H15
- ② 長崎大学 小児科
- ③ 小児科一般
- ④ 長崎県
- ⑤ 方向音痴です。 禱長りますのでよろしくお願ひします。

医療を支える人々 ~リハビリテーション科~ 係長 指方 雅英

リハビリテーション科は、北館二階、整形外科の向かって左側に位置しており、床面積は約300㎡を有しております。室内は、運動療法室、物理療法室、水治療法室の3部屋に分かれております。スタッフは理学療法士6名、リハビリ助手3名の合計9名です。1日の平均患者数は、外来25名、入院83名です。対象患者は、整形外科を中心に脳神経外科、内科、外科、小児科など多岐にわたっております。ここで、各診療科におけるリハビリテーションの内容をご説明いたします。

整形外科

骨折、腱の断裂など疾患は多岐にわたりますが、中でも高齢者の大腿骨頸部骨折、下肢の変形性関節症は、整形外科疾患の36%を占めています。当科では下肢疾患に対し、プール歩行を中心としたリハビリテーションを行っています。プール装置の基本はプロペラにより水流を発生させる回流水槽で、床の部分にはトレッドミルが設置されており、この上を水流に抗して歩くことで広いプール内で歩くときと同じ環境を作ることができます。効用は①浮力による免荷(足に体重がかからないこと)が得られるため痛みなく正常に近い歩行ができます。②水の抵抗は空気の約830倍もありますので、流水に逆らって歩くことで筋力増強が得られます。③温水による温熱作用により血流が促進され、痛みも軽減されます。このプールを使用した患者さんの感想では、痛みなく歩行ができ、自信がついたという御言葉をいただいております。

脳神経外科

脳梗塞、脳出血・脳腫瘍手術後、早期に病棟へ出向き、麻痺に対する関節可動域訓練、筋力増強、ベッド上動作～歩行に至るまでの治療をおこないます。

内科

呼吸器疾患の患者さんに対し、呼吸療法認定士の資格を取得している理学療法士が排痰、呼吸介助、呼吸筋の筋力増強、日常生活の過ごし方など専門的な治療を行います。

外科

主に乳癌手術後の肩関節可動域制限、筋力低下に対する治療を行います。

小児科

脳性麻痺、運動発達遅滞を持つお子様に対し、専属の理学療法士が寝返り、起き上がりなど発達段階に応じた治療をおこない、母親に対しても育児指導等を行います。



流水リハビリ装置(フローミル)



リハビリテーション科スタッフ(前列中央が指方係長)

以上、簡単ですがリハビリテーション科の概要について述べさせていただきました。これからも皆様のお役に立てるようスタッフ一同努力していきたいと思っております。

OBに聞く Part. 4

病診連携の中核を支えて下さっているOBに取材するシリーズの第4回目は、地域連携小児夜間休日診療でもお世話になっている山崎士郎先生をお訪ねしました。

やまさき こどもクリニック 山崎 士郎 先生



Q 当院とのご関係は？

A 卒後2年目の研修医として昭和55年に3ヶ月間お世話になったのが初めてで、その後、東京女子医大の心臓血圧研究所などを経て昭和61年から医長として3年間勤務しました。

Q ご在職当時の思い出は？

A 若くて自信満々の頃でしたので、何にでも取り組もうとしていました。共済病院の医局は様々な大学の人が集まっていますので、お互いに気配りが働き、協力的な雰囲気が出ていたことを覚えています。同じ大学ばかりだと逆に硬直してうまくいかないことがあります。

Q 週末の夜間に当院で急患診療(地域連携小児夜間休日診療)をしていただいておりますが？

A 小児科部長の岡先生とは長崎大学の同期で、いつも快く患者さんを引き受けて頂いていますので、せめて週末の夕方ぐらいはゆっくり家族で食事でもしてもらおうと思ったのがきっかけです。当番制で診療に当たっている他の同志の先生方も同じような気持ちでしょう。

Q 共済病院へのご注文など？

A 特にありません。電話交換なども気持ち良く対応してもらえますし、各科ともよく協力して頂き感謝しています。



山崎先生とスタッフの皆さん

インタビュー／編集委員長 萩原博嗣

年末年始の当直体制 (平成17年12月29日～平成18年1月3日)

	内科系当直		外科系当直	
	8:30～17:30	17:30～翌8:30	8:30～17:30	17:30～翌8:30
平成17年12月29日(木)	内科	放射線科	泌尿器科	整形外科
30日(金)	皮膚科	放射線科	外科	麻酔科
31日(土)	内科		眼科	整形外科

	内科系当直		外科系当直	
	8:30～17:30	17:30～翌8:30	8:30～17:30	17:30～翌8:30
平成18年1月1日(日)	内科(二次待機)		外科(二次待機)	
2日(月)	内科		眼科	整形外科
3日(火)	内科	放射線科	泌尿器科	耳鼻咽喉科

※急患は当直科以外でも対応いたします。 ※小児科、産婦人科は連日待機しております。

編集後記

あっという間に、2005年も終わりに近づいてきました。毎年のことながら、12月のこの時期になると仕事や私生活のことで自己反省し、「来年こそは！」と思うものです。

学習能力の無い私は、やはり「2006年こそは頑張るぞ！」と思いつつ新しい年を迎えることだと思えます。

編集委員 畑 宏明

科	役職	医師名	月		火		水		木		金		備考(専門分野・特徴など)	
			午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後		
内科	部長	林田一洋			●		●				●		肝臓・消化器疾患	
	医長	佐藤浩信			●		●				●		消化器疾患・膠原病	
	"	松見里美	●				●				●		消化器疾患	
	"	野口誠司			●				●		●		肝臓・胆嚢・膵臓疾患・消化器疾患	
	"	金子武生	●				●				●		循環器疾患	
	"	藤澤伸光	●				●				●		呼吸器疾患	
	"	大塚容子	●						●		●		腎臓疾患	
	"	村上謹士郎			●				●		●		循環器疾患	
	医員	久間文明			●		●		●				循環器疾患	
	"	原口総一郎			●		●						腎臓疾患	
	"	松永圭司	●						●				消化器疾患	
	"	古山和人			●				●				呼吸器疾患	
"	有馬誠一郎	●						●				消化器疾患		
	糖尿病教室					●		●		●		●	※詳細は内科外来へお尋ね下さい。	
小児科	部長	岡尚記	●		●						●		小児一般	
	医長	合田裕治	●				●		●				小児アレルギー疾患	
	医員	蓮把朋之	▲				●				●		気管支喘息	
	"	西岡桃子			●				●		▲		※▲は未熟児回診後の診療のため、開始時間が遅れます。	
	乳児健診					●							火曜PM1:00～	
	慢性外来・神経外来						●						水曜PM2:00～※神経外来は第2水曜日のみ(要予約)	
	喘息外来								●				木曜PM2:00～	
外科	外科顧問	松永章							●				内視鏡下外科	
	部長	江里口直文	(●)		●		●		●		●		※月曜は新患のみ受付	
	医長	澤田健太郎	●				●						※月曜～金曜の午後は手術	
	"	川畑方博			●						●		※乳癌検診は、10時までに受付を行って下さい。	
	医員	赤須須玄	●				●						※詳細は外科外来へお尋ね下さい。	
脳神経外科	院長	福井仁士	●				●						脳腫瘍、脳血管障害、頭部外傷、脊椎外科	
	診療部長	山川勇造							●		●		小児の神経外科、顔面痙攣、三叉神経痛の外科	
神経内科	医長	濱田康宏	●						●				手術、顔面痙攣のボツリヌス注射療法	
整形外科	医員	高倉由佳									●		神経内科疾患一般※第2・第4金曜日のみ(要予約)	
	部長	萩原博嗣	●				●				●		骨関節疾患全般	
	医長	久我尚之			●		●		●				・股・膝関節の関節形成術、人工関節置換術	
	"	寺本全男	●						●		●		・膝・肩・手・肘の鏡視下手術	
	医員	井上三四郎	●		●				●		●		・脊椎外科、腰部疾患手術	
	"	中村哲郎	●		●								・肩・手の外科	
皮膚科	医長	平島徳幸	●	●	●		●		●	●	●		・湿疹、虫刺症、アレルギー性皮膚炎	
	医員	尾形美穂	●	●	●		●		●	●	●		・皮膚感染症・爪疾患、毛疾患 ・皮膚小手術(粉瘤、陥入爪など)(火・水・金)	
泌尿器科	部長	山田潤	●				●				●		尿路結石、尿路腫瘍、前立腺疾患	
	医長	森光浩	●						●		●		体外衝撃波結石破碎術(ESWL)	
	医員	高橋元			●		●						尿失禁、尿路感染	
産婦人科	副院長	木寺義郎	●				●				●		産科・周産期医療、不妊症・内分泌疾患	
	医長	鶴地伸宏	●		■		●		●				体外受精・胚移植術、腹腔鏡下手術	
	"	内山章	■		●		●				●		更年期・婦人科疾患	
	医員	新谷可伸			●		●■		■		●		※●:婦人科診療日 ■:産科診療日	
眼科	医員	山口明子	●		●				●		■			
	医長	小西健一	●		●		●	●	●		●		白内障手術、緑内障手術、硝子体手術、網膜剥離手術、眼瞼下垂手術、翼状片手術、レーザー光凝固術など※水曜の午後は術前検査と特殊再来(要連絡)	
耳鼻咽喉科	医員	中森玄司	●		●		●	●	●		●			
	医長	佐藤公治	●		●		●		●	●	●		アレルギー性鼻炎のレーザー治療	
放射線科	医員	井口貴史	●	●	●		●		●		●		小児の耳鼻咽喉科疾患	
	医員	野々下政昭	●								●		耳・鼻・咽喉頭・頸部などの手術	
	医長	岩本良二							●				MRI、CT、RI、血管造影、超音波検査	
麻酔科	医員	吉田成吾			●								消化管造影、内視鏡検査	
	医員	久能由記子					●						内視鏡下手術(ポリープ切除)	
	医長	深野拓	●				●		●				※月～金午前ペイン外来	
	医員	吉村真紀			●				●		●		※月～金午後は手術麻酔	
歯科 口腔外科	医員	松本周平			●				●					
	医長	別府幸岐	●								●			
歯科 口腔外科	医長	川村英司	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	歯科・口腔外科(紹介患者のみ新患受付) 顎変形症(外科的矯正)・インプラント・歯牙移植・顎関節症・マウスピースなど